

早瀧比咩神社通信

発行所：早瀧比咩神社
氏子総代会
玉野市滝773番地
不定期発行
編集：葛原

新年明けましておめでとう

歳旦祭行われました 厄払い祭も！！

歳旦祭

新年午前零時から、早瀧比咩神社で歳旦祭が行われました。



向拝飾り付け中

お飾り用の新稲藁（わら）の入手から始まり陰干し乾燥、袴取りを経て12月初旬に役員総出で

新年のご挨拶 神社氏子総代会

新年（寅年）開けましておめでとうございます。氏子の皆様方におかれましては良い新年をお迎えのことと推察致します。昨年中は早瀧比咩神社の運営に格別のご理解とご協力や多くのご寄進を頂きありがとうございました。昨年（寅年）は特別行事はなく、コロナ禍の中、感染防止対策を取りながら定例行事を予定通り進めることが出来ました。あいまを見てお宮風致向上のため、小宮さん周辺や滝区の管理区域に入る早瀧自然公園内の一の滝、三の滝周辺、天狗の足跡と龍王宮の裏山の雑木伐採、雑草の除去や社務所裏の駐車場整備に力を注ぎました。参道や境内・梅林の空いた場所へ河津桜の植樹を行いました。



また、舊珈琲の大家さんが、旧古市邸・屋敷を購入し整備されたことも相まって、すつきりとした景観が実現できました。整備する過程で連理木を発見、山陽新聞の記事になったこともあり、市内外からの来客が増えたため、コピー版のパンフレットが不足し、印刷に切り替えるという事態となりましたが、うれしいことにその分お賽銭が増えました。

縄（しめなわ）作りを行い、向拝の大縄を完成飾り付けし、その他の縄は年末に各社に飾り付けを行いました。

大晦日には清掃後に横断幕と向拝幕や御神灯の取付けや旧お札回収箱の設置、テントを設営し甘酒や焼き芋などの準備をして皆様の参拝をお待ちしました。

元日零時より宮司をお迎えし役員一同・地区役員出席の元、式典を厳粛に執り行いました。歳旦祭は新年を祝い皇室の繁栄と国の益々の発展を祈



神社正面の夜景

るとともに、氏子崇敬者と地域社会の平和と繁栄を祈り元日に行われるお祭りです。早瀧比咩神社境内では皆さんが焚火を囲みながら新年の祝詞を

取り交わしました。元日は役員一同が皆さんの初詣参拝に本殿・拝殿を開放して対応、古お札は三日まで回収しました。皆様方の本年のご多幸をお祈りします。

厄払い祭

一月三日午後一時から早瀧比咩神社にて米寿・喜寿の年齢に達せられ、希望された七名の皆様の厄払い・お祝い・玉串奉奠などの儀式を執り行いました。

厄年の年齢は、人の一生の中でも、体力的、家庭環境的、或いは対社会的にそれぞれ転機を迎える時でもあり、災厄が起こりやすい時期として忌み懼まれています。その年に当たっては、神様の御加護により災厄から身



参列された皆様

を護るため、神社に参詣をして、災厄を祓う厄祓の儀（厄除け）がおこなわれます。厄年の年齢は「数え年」で数え、地域によって多少異なると

ころもありますが、男性が二十五歳・四十二歳・六十一歳、女性が十九歳・三十三歳・三十七歳などを言い、この年齢の前後を前厄・後厄と称します。



祈念お守りの受取り

感染拡大となつていますが、お宮行事はより厳密に消毒・換気・マスク着用を励行し三密を避けながら行事を進めます。今年度行事はほぼ予定通り完了しました。四月の役員改選後は五月の春祭りとなります。まもなく梅や植樹した河津桜の開花時期を迎えますのでお宮には親しみを持って散歩がてらお出かけ下さい。

あとがき

年末に島池の土手にある、弁財天宮の様子を見に行つた。（祀られている市杵島姫命については前号に詳述したのでご参照ください）少々驚いたのは祠に真新しい縄が飾られていたことです。山村の人は一切面倒みていないと聞いていたし、お宮役員も久しく行つてないので謎です。創建された宇野の篤志家のご子孫が準備されたのではないかと想像しています。

今後のお宮行事

この祠を覆う鉄骨製建屋屋根裏に作られた大きな雀蜂の巣を撤去し、支柱に縄（秋祭時のお宮幣殿用を流用）を取り付けた。（編集士）